



XIB キャピタルパートナーズ・フレッシュフィールズ共催セミナー

カルテルの裏話

* 本セミナーは招待者限定となります。

このたび、XIB キャピタルパートナーズとフレッシュフィールズブルックハウスデリングー法律事務所(外国法共同事業)が共催にて、標題のセミナーを開催いたしますので、以下のとおりご案内申し上げます。

各業界を代表するお客様を中心にお声がけをさせて頂き、10-15 名程度の少人数のお客様をお呼びして開催する予定です。

独禁法のコンプライアンス講座が巷で溢れている中、今回は、少人数の closed door の集まりということで、いつも殆ど公には聞こえてこない、カルテルの「裏話」に焦点を置いたセッションにしたいと思います。

主なトピックは以下のとおりです。

- 日本企業は何故海外独禁法当局に狙われるのか、何故中国企業は捜査されないのか。
- 殆どの大きな独禁法事件は、必ず政治的な思惑が絡んでいる(自動車、金融、エネルギー、IT 分野の最近の事件の背景)。
- 各国政府内の「位置づけ」が独禁法当局の運用に大きく影響する(米国、EU、日本、中国、ブラジル当局の政府内のステータス)。
- リニエンシーを出すかは、当局や弁護士の言いなりで判断してはいけない(今欧州で起こっていることを日本企業は知らされていない)。
- 本当に意味がある「コンプライアンス」とは(本社を頂点にしたピラミッド、実際にぎりぎり救われた例)
- カルテルが M&A の前、最中、後に大きなインパクトを与えた実例

皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2017 年 6 月 7 日(水) 12:00(正午)~2:00pm
軽食・お飲み物をご用意いたします。

場所

フレッシュフィールズブルックハウスデリングー法律事務所(外国法共同事業) 会議室
東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー36 階(代表:
03-3584-8500) [\[MAP\]](#)

講師

山田 香織(フレッシュフィールズ 東京オフィス パートナー、カルテルに関する基調セッション)
山川 亜紀子(フレッシュフィールズ 東京オフィス パートナー、独禁法以外の企業スキャンダルに関するコメント)
ダニエル・マルーフ(フレッシュフィールズ 東京オフィス アソシエイト、M&A の観点からのコメント)

言語

日本語および英語
(基調セッションは日本語で行います。コメントの一部は英語になりますが、ご了承下さい。)

お申込み

本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当までお知らせ下さい。

担当: 會田 靖夏

E メール: shizuka.aida@xibcapital.com

電話: 03 5219 1302